

札幌地区労連ニュース

〈発行〉
札幌地区労働組合総連合
発行者 木村 俊二
札幌市東区北9条東1丁目2-22
TEL557-8481 FAX557-8482



A black and white photograph of Kenji Ono, a man wearing glasses and a baseball cap with a logo, standing in front of a banner with Japanese text.

激励集会が行われました
表して、札幌地区労連の
赤坂議長が「大学での非
常勤職員の雇い止めが多
発したのは、労働契
約法改正（無期転換ル
ル）がきっかけだと指摘
し、雇用を守るはずの労
契法が悪用され雇い止め
に使われている。東海大

木崎地区労連は1月に加盟した。東海大学教職員組合が札幌キャンパスで1名の組合員が雇い止め撤回を求め指名ストライキを実施しました。極寒の中、ストライキ支援に30人をこえる支援者が激励集会やスト 支援行動を行いました。

ストライキに先立ち大学の近くの町内会館で激励会が開催されました。

の雇い止めも明らかに不服行為だ。専修大などでは裁判で勝つていて。東海大の雇い止めを許さないため是非支援していただきたい」と訴えました。連帯あいさつも寄せられました。札幌地域労組からは参加した4人を代表して、三苦文靖書記長があいさつしました。

「東海大の雇い止めは東海大だけの問題ではない。不当な無期転換逃れの雇い止めを許せば他の大学

にも波及する。紹介する
わけには行かない。これ
からも支援する」と力強
い連帯の言葉が述べられ
ました。

札幌圏の大学・短大で
働く非常勤講師を対象に
した札幌圏大学・短大非
常勤講師組合の川村雅則
書記長（北海学園大教授）
は「大学は多数の非常勤
講師により成り立つてい
る。東海大学が研究職だ
から雇い止めは5年では
なく10年だと主張してい

るが、実際は研究室を持つ
ていないし、実態は研究
職とは言えない。」と東
海大の不當性を訴えまし
た。

集会後、参加者は東海
大札幌キャンパス（南区）

連つ地
でさ幌帳の三苦と
室内集会のするを域労組の書記長(右)と
川村教授(左)

め、札幌地区労連、札幌地域労組、医療、教育などの組合から次々と激励のスピーチが続きました。指名ストリートに立ち上がり、今野滋さんが到着すると大きな拍手が湧き上がりました。

The image consists of two panels. The left panel is a black and white photograph of a protest or rally at night. A large banner is held up, reading '非常點 東海大は不当な電い止め 運動実行委員会' (Emergency Point, Tokai University has imposed an unreasonable power cut, Movement Implementation Committee). The right panel is a color photograph of a man in a suit and tie speaking into a microphone. He is wearing glasses and has a name tag that reads '道労連野上副議長 音頭で団結頑張ろ' (Deputy Chairman Nohara of the Railway Workers' Union, Strive together with determination through the sound head).

東海大ストラテジック支援

非常勤講師の雇い止めを撤回せよ！



室内集会で
帯のあいさ
をする札幌
域労組の三
書記長(右)
川村教授(左)



各団体から連帯の
あいさつ



道労連野上副議長の
音頭で団結頑張ろう

